

# 会 議 報 告

島田市市長戦略部広報課

## 第5回 島田市ブランドデザインワークショップ

以下のとおり報告します。

日 時	平成 27 年 7 月 13 日 15 時～17 時
場 所	島田市役所会議棟D会議室
参加者	ファシリテーター トコナツ歩兵団 団長 渡部祐介氏 参加者 民間事業者等 16 名 市役所ワークショップメンバー6名 事務局 2 名
内 容	<p>市民や民間事業者を交えての 1 回目会議 挨拶 事業説明</p> <p>市では、シティプロモーション事業の一環として、本事業を実施する。市が厳しい地域間競争の中で、地域内外におけるイメージアップや他自治体との差別化を図るため、ブランドメッセージとロゴの作成を目的にワークショップを開催する。ご参加の皆さんの意見や想いを、委託事業者に提供していただきたい。</p> <p>ワークショップ 事業者の紹介と全体スケジュール説明の後ワークショップに入った。 まずは島田市がどんな市町になってほしいかという意見の集約を行った。 全体では、市の職員の意見とほぼ変わらない意見が出た。</p> <p>例) たくさん人が歩いている街、活気のあるまち、市民皆が自慢できるまち、外からの来訪者がお金を使ってくれるまち、食べ物おいしい、賑わいのあるまち、楽しい街人が集う街、特徴のあるまち〇〇といえば島田、世界中の人があこがれるまち、住みたいと思える町、人口が増加するまち、個性が活かされているまち</p> <p>企業や自治体のロゴやデザインについての検証を行った。 島田市に振り返っての意見)</p> <p>立場を考えると島田市に振り返ってひとつを選べない 子どもでも分かるようなものが良い マークからモノをイメージできない 多くの者が利用できるような汎用性が欲しい ある程度認知されているものを利用したほうが良い</p>

時間がかかっても一つに絞ったほうが良い

つくば市のコンセプトブックの評価をグループワークで行った  
良い点)

絵がわかりやすい、絵本みたい、まちの価値が高まる、ストーリー性が  
しっかりしている、色使いが良い、子ども目線、問いかけが良い、知的  
イメージ、市として良く考えられている、よくまとまっている、

悪い点)

イラストが弱い、本物がたくさん出てきた、色とフレーズが繋がらな  
い、フォントが適切でない、イラストがやわらかすぎる、中向け、オイ  
リーワンは3つ程度、回答がほしい部分がある

まとめ

理想とする都市像については、市の職員のみで開催したときの理想像と  
大きな違いはないという結果がでた。他市の事例や企業のロゴの事例を見  
ることで、何のためにロゴやスローガンを作成するのかを参加者は理解し  
た。その上でつくば市のコンセプトブックの評価が行われた。

成果品としてストーリー性やよくまとめられているコンセプトブックで  
あるが、各参加者の評価は概ね厳しい意見が多いと感じた。先行事例に対  
しての意見でもあり、全体としてひとつのテーマに絞りきることを意  
識する結果となった。

次回以降で参加者のデザイン志向と島田市に置き換えたときの素材が選  
考されていく。

宿題

各人が好きなロゴ&スローガン2個以上提出してください。